



本日 第2236回 2017年3月17日(金) No. 2121

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者:加藤 清久君

点 鐘

卓 話 者: "

ロータリーソング「 四つのテスト 」

演 題:「最近の世相で感じていること」

前 回 第2235回 2017年3月10日(金) 記 録

○斉唱:「我等の生業」

ゲスト:ふみもと子供将棋教室 文本 力雄様

出席者:会員 21 名中 19 名出席 出席率 90.47%

前々回補正出席率 2 月 24 日分 95.23%



会長あいさつ 山田 直樹



皆さんこんにちは。今日は第 2235 回の例会です。ゲストにふみもと子供将棋教室の文本力雄様をお迎えしました。後ほど卓話をしていただきます。文本様は今や将棋界のニュースターになった瀬戸出身の藤井聡太プロ棋士を育てられた方です。お話を楽しみにしております。さて私は今週火曜日にぎっくり腰になりまして、昨日までとても歩ける

状態ではなく今日こちらへ来られるか心配でしたが、何とか少し動けるような状態になりました。みなさんもくれぐれも注意をしてください。3 月に入りまして寒いと言いながらも春の息吹が少しずつ感じられるようになり、桜のほうも今年は例年通りに 3 月の下旬から 4 月上旬にかけて開花するようです。尾張旭の恒例の桜まつりも予定通り 4 月 1 日から始まります。世の中の気候温暖化の影響で毎年桜の開花が早くなってきました。このまま進むと近い将来 4 月の入学式に桜が見られるのではなく 3 月の卒業式に桜を見ることができるとのこと。私たちの概念も変わってしまうかもしれません。桜が開花しない北限ラインがどんどん北上して南九州では桜が咲かない時代がくるようです。さらに深刻なのは紅葉でして紅葉シーズンが遅くなり 11 月下旬から 12 月中旬が平均的で期間が 1 か月ない状態です。12 月中旬には葉が落ちてしまっ紅葉しないまま年が明ける機会が増えていくそうです。温暖化の問題がいろいろなところで支障をきたすことを忘れてはいけないと思います。話は変わりますが何故私たちは桜や紅葉を目にして感動するのでしょうか？私たちの遠い祖先は暮らしの中から 4 つの色を識別する能力を身につけたそうです。赤青緑そして紫外線です。しかし恐竜時代になって夜行性の生活を強いられる中で視力より聴覚嗅覚が発達して赤と

水と衛生月間

	3月24日(金)	3月31日(金)	4月9日(日)	4月14日(金)
例会予定	卓話担当者:古橋 裕志君 卓話者:尾張旭市役所 産業課 松原様 演題:「わが町の溜め池」	卓話担当者:菊田 利昭君 卓話者: " " 演題:「 雑話 」	(4月7日振替) 花見茶会例会 於「こふき邸」 点鐘 15:30	卓話担当者:谷口 伸夫君 卓話者: " " 演題:「 未定 」

緑の2つの識別しかできなくなったそうです。2億年前のことです。やがて恐竜が絶滅して昼間の生活にもどり4つの色の識別を取り戻したのが3000年前になるそうです。長い時間をかけて人間の先祖が作り上げてきてくれた色を愛でる私たちの感性をもっと大事にしたいと思います。

ニコボックス

○本日ゲストに、文本力雄様をお迎えして。卓話宜しく御願い致します。 山田 直樹君

○文本力雄さん、ようこそ。藤井四段の話を楽しみにしています。 金森 俊輔君

○本日、文本様をお迎えして。卓話を楽しみにしています。

浅野 善吉君、飯田 幸雄君、江尻 豪君

加藤 清久君、菊田 利昭君、桜井 雅博君

高島 昇君、箕輪 良孝君、森井 晴生君

○明日3月11日、東北大震災6年目今年も行くよ！

加藤 清久君

○鼻水や 我が身の風邪か 春風か 古橋 裕志君

卓話



「将棋・・・そして聡太」 文本 力雄

「将棋は覚えてはいけません。将棋はやってもいけません。」

その意味は終わりにお話ししたいと思います。

日本の伝統文化ゲームはどのように生まれたのでしょうか。紀元前2～3世紀古代インドのボードゲーム「チャトランガ」がルーツだと言われています。そのチャトランガが西へ行きチェスとなり、東は二つの経路、一つはスリランカ、マレーシア、タイ、ラオス、台湾、琉球を経て日本へ。もう一つは中国、モンゴル、朝鮮半島を経て日本へ伝わったと言います。殆どの国の将棋がチェス同様取ったきりのルールであったのに対して、日本だけは大将棋、中将棋といった現在の4倍以上の駒数での将棋が行われた時代もありましたが、取った駒が使用できるという現在形となったのが江戸時代または鎌倉期という説もあります。

私は小学4、5年頃、将棋を姉の同級生の女子に教えてもらいました。それ迄は、はさみ将棋、まわり将

棋、山崩ししか知らなくて、本将棋というものを初めて知ったのです。中学へ入るとクラスに一人だけとてつもなく強い子がいて、その子が王のいろいろな囲い方を教えてくれたのです。それだけで驚いた覚えがあります。それからはその強い子に勝ちたい一心で将棋本を買って独学を始めました。そして、中学卒業間近になって勝つことができました。とても嬉しかったです。

今想えば、姉の同級生が私に本将棋を教えてくれなければ藤井聡太との出会いはなかったでしょう。聡太は年中5歳の時にお祖母ちゃんに連れられてふみもと子供将棋教室へ来ました。ぷっくりして女の子のように可愛かったです。20級から始めた聡太は一年で16階級昇級し4級となってしまったのです。そして、小学一年の12月ほどに初段となり将棋大会優勝街道を進んで行きます。小学三年生で「小学生倉敷王将戦」全国大会で優勝し日本一となったのです。翌年八月、奨励会を受験し合格。その月いっぱい教室を卒業します。

4年9ヶ月の日々を想うと寂しさがあふれてきました。藤井聡太は百年に一人の逸材だと思います。やがて、名人となる子です。そして、その名人の向こうまで歩んでくれるでしょう。

冒頭の言葉をこれから将棋を習おうという子、人に言いたい。

「将棋を覚えてはいけません。将棋をやってもいけません。」

私には痛恨の思い出があります。それはとても美しい人と付き合っていた頃、デートをすっぽかして将棋の方へ行ってしまったことが・・・

最後にチェリッシュのヒット曲をもじって歌わせていただきます。

なのにあなたは将棋が いいの

将棋の駒がそれほどいいの

このわたしの愛よりも・・・

《 ふみもと子供将棋教室 》

会 場：瀬戸支部 愛知県瀬戸市孫田町 51-12

開講日時：月曜日 午後4時～7時

水曜日 午後5時～7時

土曜日 午後1時30分～4時30分

対 象：幼稚園児、小学生

内 容：駒の動かし方、基本定跡、指導対局、自由対局